

2015年4月2日

## スバル 「STI Performance Concept」をニューヨーク国際自動車ショーにて世界初公開

富士重工業は、米国ニューヨークにて開催中の 2015 年ニューヨーク国際自動車ショーにおいて、「STI Performance Concept」を世界初公開しました。

「STI Performance Concept」は、富士重工業のモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル株式会社\*1 が今後の米国での事業拡大に向けて、その主要事業内容であるパーツビジネス、コンプリートカービジネス、モータースポーツ活動を表現したコンセプトカーです。

STI 製サスペンション、ブレーキ、内外装部品等を含めて、一台のコンセプトカーとして提示することで、STI のパーツビジネスとコンプリートカービジネスを具現化しました。また、エンジンには Super GT レース用の EJ20 型 2.0 ℓ 水平対向 4 気筒ターボエンジンを搭載することで、そのモータースポーツ活動を表現しました。

\*1: スバルテクニカインターナショナル(株)(略称:STI、東京都三鷹市)



STI Performance Concept

2014年5月に富士重工業は、新中期経営ビジョン「際立とう2020」を発表しました。「際立とう2020」では、富士重工業の持続的成長を目指して、2020年のありたい姿を「大きくはないが強い特徴を持ち質の高い企業」とし、その実現に向け「スバルブランドを磨く」「強い事業構造を創る」の2つの活動に集中し、付加価値経営を更に進め、環境変化への耐性を高めることに取り組むことを宣言しました。

その「強い事業構造を創る」取り組みの一つである商品戦略においては、STIブランドの活用拡大を掲げており、今回の「STI Performance Concept」出展はその端緒となります。

具体的には、スバルにとっての最大市場である米国において、STI製パーツの販売を拡大するとともに、それらを搭載したコンプリートカーの展開も検討していきます。さらに米国でのモータースポーツ活動においては、スバルオブアメリカ\*2のグローバルラリークロス\*3チームへのSTIからのサポートを強化していきます。

\*2: Subaru of America, Inc.: 富士重工業の米国販売会社、ニュージャージー州チェリーヒル

\*3: Global Rallycross: 2015年シーズンは全12戦の開催を予定。

富士重工業は経営理念である「お客様第一」を基軸に「存在感と魅力ある企業」を引き続き目指します。スバルらしい存在感の実現に向け、確かなモノづくり、クルマづくりを貫き、お客様への「安心と愉しさ」の提供を追求し続けます。